

はあとメール 第12号

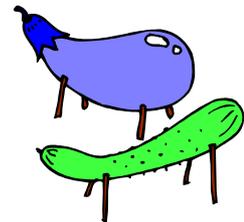
発行人 〒606-8405
京都市左京区浄
土寺上南田町26
☎075-761-2109
住田正則

みなさんこんにちは、はあとメール代表の住田正則（行政書士・社会保険労務士）です。

8月は、いろいろな意味で、私たち日本人にとって特別な月なのかも知れません。子どもたちにとっては、7月後半から始まった夏休みを、丸1か月にわたって満喫する月であり、大人たちにとっても、この月の中旬にあるお盆休みは、旅行に里帰りにと、少しだけ日常とは異なる動きをする月です。

また、お盆休みはご先祖が家に戻ってくる時季とも言われ、そのためのあれこれの行事のはざまに、家族のことや血縁のことを考えたりする月でもあります。甲子園球場にて2週間にわたって繰り広げられる全国高校野球大会も、私たちの心にふるさとというものを改めて想起させる年中行事の一つとなっていますね。

そして・・・8月は、15日の終戦記念日を軸に、60数年前に行われた戦争について、年長の方々は自身の記憶をたぐり、年若の人々は重要な歴史情報のひとつとして思いをめぐらす月です。



～文通で、あなたの暮らしにうるおいと安心を～
「市民のみなさんと法律家（専門家）の双方向の交流を、
文通によって実現していきます」

今年は、こうした特別なものに加えて、さらに一つ、8月の意味を際立たせる要素があります。政治です。

戦後ながらく続いた政権与党の基盤が、かつてないほどに揺らぎ、ついに日本でも2大政党時代が幕開けかという情勢になってきています。しかし、いずれの陣営が勝利するにしましても、もはや従来の政治手法があらゆる局面で通用しなくなっていくことは明らかであり、それはひとえに、私たちそれぞれにしても、これまでのようにお上任せで何とかなっていた時代とは違うんだという認識を強く持たなければならないことを意味しています。



特別な8月に、ぜひ特別な思いをもって、私たちの住む社会のことをいま一度見つめ直しましょう。老いも若きも、男性も女性も、ご自身のよりよい未来の構築へ向けて・・・。

あ、ちなみに上記の選挙の告示日（8月18日）は、私の41回目の誕生日でもあります（笑）。

僕の旅行記



はあとメール会員のみなさま、こんにちは。橘太一です。

前回は北海道への修学旅行で初日、2日目を終えたところまでお話しが進みました。今回は3日目以降のお話しとなります。

前回からは道東方面にと思っておりましたが、昔の記録をたどりますと、以外や以外！札幌から北へ向かったのですが、急遽反転！いきなり道南方面に向かうことになりました。初日に到着した千歳空港を通過し室蘭方面へ。今では道央自動車道が整備され、札幌から千歳までは高速道路で30分程度。しかし当時は延々と下道の国道をひたすら南下し、空港まで1時間以上を要しました。千歳を通過し、苫小牧を經由して、一路牧場地帯へとバスは走ります。定山溪出発から3時間以上経過し、お昼に到着したのが、日高ケンタッキーファームという観光施設でした。日高ケンタッキーファームがあるのは、苫小牧から太平洋に沿ってさらに東へ。沙流郡門別町鷓川（さるぐん・もんべつちょう・むかわ）というところです。現在は市町村合併により沙流郡日高町となっています。千歳空港からですと、1時間以上は掛かります。

この施設では、北海道らしく!?乗馬があり、昼食には初めての「ジンギスカン」を。多くの友達とワイワイいいながら、青空の下でのバーベキュー！屋外でよばれました。絞りたての牛乳を飲ませて頂いたり。乗馬のほか、アーチェリー、パットゴルフ、広大な芝生でのサッカーなどで盛り上がりました。私が一番楽しかったのが初体験の乗馬でした。もっとも、インストラクターの方が付いて下さっての「並足」（普通に歩くことを馬用語で“なみあし”といいます）程度ですが、馬の背中は「高い」です。ちょっと、おっかなビックリ。軽く歩くだけでも鞍が結構揺れます。その鞍の上から見ると、馬の首がグニャグニャしています。10月でしたので肌寒かったのですが、とても爽快な気分になりました。もっとも遊びたかったのですが、バスの出発時間が迫ります。

そして日高ケンタッキーファームを後にして、一路「夕張」へ向かいました。

夕張には夕方到着。鷓川からは北へ2時間程度のところに位置します。夕張炭鉱の跡地に、炭鉱内部の探索、屋外での遊戯施設などを見学し、当時の炭鉱での作業や生活などを見て回りました。中はなかなかリアルに作られ、炭鉱マンや石炭を掘る道具、運搬具など、どれも始めてみる光景に興味津々でした。3日目は夕張での宿泊となり、4日目はさらに東へ。川湯温泉郷へと向かいます。

この川湯温泉までが遠かった！夕張から再び鷓川を通り、太平洋岸をどんどん襟裳岬方面へ。そこから北上し帯広を通過、さらに東へ釧路も通過！釧路から北へ上がったところがようやく川湯温泉です。4日目はほとんどがバスの中。途中ドライブインで休憩が数回あっただけで、ひたすらバス移動。ようやく着いたと思ったら、北海道の東端まで来てしまいました。実にバス移動が8時間！もう夕方です。川湯温泉に近づくとつれ、みんなが口々に叫びだしました。クサイ！

そう、それもそのはず。川湯温泉は硫黄泉なのです。今回は、川湯温泉到着までです。どのような感じで温泉で過ごしたのか、川湯温泉の近くには、どのような観光施設があり、回ったのかなど、次回をお楽しみに！

さて、すこしお話はそれるのですが、残念ながら日高ケンタッキーファームは2008年の年末に倒産し、地域での再生も虚しく閉鎖となりました。また夕張はニュースでも報じられましたが、市の破綻ですね。そういえばあのころから何やら「ハコモノ」が目につきましたっけ。日高も夕張も思い出がいっぱい詰まった場所ですから、これらニュースを聞いたときにはとても寂しかったです。

今北海道へ行かれると、日高ケンタッキーファームの代わりに、新千歳空港から車で30分のところ、苫小牧にノーザンホースパークがあります。ここも乗馬をはじめ、バーベキュー施設などが沢山ある複合レジャー施設です。1日中遊べるので行かれるのも良いでしょう。さらに！現役を引退した名馬も居たりしますので、そんな楽しみもあります。それではまた次回！

「はあとメール」の具体的な活動方法・活動内容について、改めてご説明いたします。

基本的に、毎月1回（15日前後）に、法律ひとくちメモやくらしのお役立ち情報などを盛り込んだ「はあとメール」を、本活動の趣旨にご賛同いただきました方々（「はあと会員」と呼びます）へ向けて郵送いたします。会員の方々は、スタッフへ向けてご質問・ご相談などのおたよりを送ることができ、それに対してのお返事をスタッフが書く、という流れで、双方の心のふれあい・意思疎通をはかります。

また、会員の方々は、スタッフが開催する無料相談会やセミナーに優先的にご参加いただくことができ、必要に応じて遺言・相続などの業務依頼をスタッフに発注することができます。すでに心安くしているスタッフへの依頼ですから、その安心感は格別なものになるのではないかと思います。

☆「はあと会員」会費 → 無料です！！

このたび、はあとメールは、京都新聞社会福祉事業団さまの助成金を受けることができました！よって、少なくとも2009年中は会費は必要なく、お申し込みいただくだけで、すぐに「はあとメール」をお送りいたします。さあ皆さん、ぜひぜひ「はあと会員」の輪の中にお入りください～

☆会員へのサービス内容

「はあとメール」発送、質問・お便りへのお返事、相談会・セミナーへの優先ご招待、業務お引き受け等

おたより・ご要望・ご相談など、お気軽にお寄せください。

（住田 正則）



あなたのご参加を、心よりお待ちしております

みなさん、こんにちは。京の菜時記を書かせていただいております
橋本将詞（社会保険労務士）です。

毎回、京都でとれる旬の野菜を紹介しようと始めた「京の菜時記」、
9回目となります今回は、鹿ケ谷南瓜をご紹介します。

京の菜時記

保存ができるために旬がわかりにくい野菜が「南瓜」です。でも、出荷の最盛期は真夏の今の時期。京都には一際目をひく「鹿ケ谷南瓜」というかぼちゃがあります。



約200年前に奥州・津軽から種をもらって帰った鹿ケ谷村の百姓さんが作りはじめたのが起源とされており、瓢箪のような独特の形は突然変異という説もあれば、何年も作っていくうちに瓢箪型のものを作り出したともいわれています。

名前のおり、京都市左京区鹿ケ谷で多く栽培されていましたが、現在市場流通するそのほとんどが綾部市を中心とした中北部地域で作られています。

とはいえ、鹿ケ谷には安楽寺というお寺があり、そこでは約300年続いた伝統行事があります。有名な「かぼちゃ供養」です。毎年7月25日に開催されるかぼちゃ供養は、真空益随上人が本堂で修行中、「夏の土用のころに鹿ケ谷カボチャを振舞えば中風にならない」というお告げをうけたのがはじめといわれています。

かぼちゃ供養には毎年約300kg程度を使用するようで、そのかぼちゃも綾部市のものを使っているそうです。

出荷時には、青々とした緑色の南瓜も、そのままにしておくとも黄色とも茶色ともいえない独特の色合いに変化していきます。ただ、味については賛否両論。一般にみかける栗南瓜と比べると皮は柔らかく、甘みも控えめ。南瓜だけを炊くよりも鶏肉のそぼろ等と炊いて食べるほうが旨みを引き出せるかと思います。

見た目にも存在感があり、また色合いも変化し、保存がきくために観賞用として飾っておくのも一興かと。